平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月9日

上場会社名　文化シヤッター株式会社　　上場取引所　東
コード番号　5930　URL　http://www.bunka-s.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 茂木　哲哉
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長　(氏名) 西村　浩一　TEL 03-5844-7200

四半期報告書提出予定日　平成23年11月9日　配当支払開始予定日　平成23年12月12日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	44,990	2.8	871	―	1,030	―	772	―
23年3月期第2四半期	43,760	△0.9	△466	―	△259	―	△1,850	―

(注)包括利益　24年3月期第2四半期　283百万円　(―%)　23年3月期第2四半期　△2,391百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	11.76	―
23年3月期第2四半期	△26.96	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	78,024	29,624	38.0
23年3月期	80,400	29,539	36.7

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　29,624百万円　23年3月期　29,539百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	3.00	―	3.00	6.00
24年3月期	―	3.00			
24年3月期(予想)			―	3.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	2.8	2,200	183.9	2,600	130.5	1,900	22.7	28.91

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報(その他)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	72,196,487 株	23年3月期	72,196,487 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	6,478,136 株	23年3月期	6,475,185 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	65,719,923 株	23年3月期2Q	68,665,394 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。
(四半期決算補足説明資料の入手方法)
当社は、平成23年11月25日(金)に証券アナリスト・機関投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 4
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 4
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 4
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 11
（５）セグメント情報等 …… 11
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興に向けた回復が見られるものの、原発事故に伴う電力供給問題や海外の金融不安等による円高の影響、依然として厳しい雇用情勢等により、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く建設・住宅業界におきましても、設備投資に一部持ち直しの動きが見られるものの、依然として厳しい事業環境が続いております。

このような状況下におきまして、当第２四半期連結累計期間の売上高は44,990百万円(前年同四半期比2.8%増)となりました。収益面では、ＢＸＴＣＲ活動を継続推進し、当社グループの全部門において企業コストを削減する取り組みを積極的に推し進めました結果、営業利益は871百万円（前年同四半期は営業損失466百万円）、経常利益は1,030百万円（前年同四半期は経常損失259百万円）、四半期純利益は772百万円（前年同四半期は四半期純損失1,850百万円）となりました。

セグメントの業績は、次の通りであります。

なお、第１四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

１．シャッター関連製品事業

軽量手動シャッター、シートシャッターが堅調に推移しました結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は17,946百万円（前年同四半期比1.5%増）、営業利益は1,591百万円（前年同四半期比118.9%増）となりました。

２．建材関連製品事業

ビル用ドア、パーティションが堅調に推移しました結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は14,993百万円（前年同四半期比0.4%増）、営業損失は148百万円（前年同四半期比256百万円の改善）となりました。

３．サービス事業

連結子会社文化シヤッターサービス株式会社を中心に、修理・メンテナンス対応の件数が増加しました結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は6,455百万円（前年同四半期比15.2%増）、営業利益は503百万円（前年同四半期比69.1%増）となりました。

４．リフォーム事業

連結子会社ゆとりフォーム株式会社を中心に、競争激化の市場環境の中で堅調に推移しました結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は4,661百万円（前年同四半期比4.2%増）、営業利益は150百万円（前年同四半期比199.6%増）となりました。

５．その他

前年同四半期において「その他」に区分しておりましたステンレス建具を「建材関連製品事業」へ変更したことと、志村ショッピングセンターの売却により賃貸収入が減少した影響から、当第２四半期連結累計期間の売上高は932百万円（前年同四半期比13.5%減）、営業損失は14百万円（前年同四半期は営業利益13百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は78,024百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,376百万円減少しました。流動資産は51,049百万円となり、1,324百万円減少しました。これは、商品及び製品が増加（2,606百万円）した一方で、受取手形及び売掛金が減少（6,571百万円）したことが主な要因であります。固定資産は26,974百万円となり、1,052百万円減少しました。これは、投資有価証券が減少（214百万円）したこと、建物及び構築物が減少（206百万円）したことが主な要因であります。

当第２四半期連結会計期間末の負債は48,399百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,462百万円減少しました。流動負債は28,435百万円となり、1,885百万円減少しました。これは、賞与引当金が増加（248百万円）した一方で、支払手形及び買掛金が減少（1,862百万円）したことが主な要因であります。固定負債は19,964百万円となり、576百万円減少しました。これは、長期借入金が減少（400百万円）したことが主な要因であります。

当第２四半期連結会計期間末の純資産は29,624百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円増加しました。これは、その他有価証券評価差額金の減少（498百万円）、配当金の支払い（197百万円）により減少した一方で、四半期純利益の計上（772百万円）により増加したことが主な要因であります。

（キャッシュ・フローについて）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、14,369百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,934百万円（15.6％）増加しました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は2,880百万円（前年同四半期は1,332百万円の使用）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,190百万円、売上債権の減少額6,571百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額2,709百万円、仕入債務の減少額1,862百万円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は180百万円（前年同四半期比72.8％減）となりました。収入の主な内訳は、有形固定資産の売却による収入206百万円、定期預金の減少額129百万円であり、支出の主な内訳は、投資有価証券の取得による支出261百万円、有形固定資産の取得による支出238百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第２四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は778百万円（前年同四半期は5,264百万円の獲得）となりました。支出の主な内訳は、長期借入金の返済による支出400百万円、配当金の支払額197百万円、リース債務の返済による支出172百万円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期の連結業績予想につきましては、平成23年８月９日に公表した内容から変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第２四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,906	14,711
受取手形及び売掛金	27,913	21,342
商品及び製品	5,965	8,572
仕掛品	750	722
原材料及び貯蔵品	2,308	2,438
その他	2,885	3,465
貸倒引当金	△357	△204
流動資産合計	52,373	51,049
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,992	6,786
土地	7,783	7,777
その他（純額）	2,720	2,543
有形固定資産合計	17,497	17,107
無形固定資産		
のれん	4	3
その他	722	669
無形固定資産合計	727	673
投資その他の資産		
投資有価証券	5,585	5,371
その他	5,380	5,065
貸倒引当金	△1,162	△1,193
投資損失引当金	－	△48
投資その他の資産合計	9,803	9,194
固定資産合計	28,027	26,974
資産合計	80,400	78,024

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成23年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,766	17,904
短期借入金	1,800	1,800
未払法人税等	536	490
賞与引当金	1,382	1,631
役員賞与引当金	7	19
工事損失引当金	128	117
災害損失引当金	60	－
資産除去債務	－	6
その他	6,638	6,465
流動負債合計	30,320	28,435
固定負債		
長期借入金	2,800	2,400
退職給付引当金	15,781	15,791
役員退職慰労引当金	467	451
負ののれん	20	15
資産除去債務	49	43
その他	1,421	1,261
固定負債合計	20,540	19,964
負債合計	50,861	48,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,051	15,051
資本剰余金	11,159	11,159
利益剰余金	4,739	5,315
自己株式	△1,910	△1,910
株主資本合計	29,040	29,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	610	112
土地再評価差額金	0	△1
為替換算調整勘定	△111	△100
その他の包括利益累計額合計	499	9
純資産合計	29,539	29,624
負債純資産合計	80,400	78,024

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
売上高	43,760	44,990
売上原価	32,673	32,820
売上総利益	11,086	12,169
販売費及び一般管理費	11,553	11,298
営業利益又は営業損失（△）	△466	871
営業外収益		
受取利息	6	4
受取配当金	63	77
受取賃貸料	30	33
負ののれん償却額	5	5
持分法による投資利益	0	－
助成金収入	94	7
投資事業組合運用益	－	228
その他	138	102
営業外収益合計	339	459
営業外費用		
支払利息	49	57
持分法による投資損失	－	65
その他	83	177
営業外費用合計	132	300
経常利益又は経常損失（△）	△259	1,030
特別利益		
固定資産売却益	5	182
移転補償金	1,620	－
債務免除益	0	－
特別利益合計	1,625	182
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	9	22
減損損失	14	－
投資有価証券評価損	153	－
貸倒引当金繰入額	44	－
課徴金	2,025	－
割増退職金	377	－
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	－
その他	248	－
特別損失合計	2,985	22
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△1,620	1,190
法人税等	230	417
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,850	772
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△1,850	772

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△1,850	772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△470	△481
為替換算調整勘定	△29	7
持分法適用会社に対する持分相当額	△41	△16
その他の包括利益合計	△540	△489
四半期包括利益	△2,391	283
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,391	283
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△1,620	1,190
減価償却費	785	747
減損損失	14	－
負ののれん償却額	△5	△5
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△9	△122
投資損失引当金の増減額（△は減少）	－	48
賞与引当金の増減額（△は減少）	△59	248
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	14	11
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△462	295
課徴金	2,025	－
受取利息及び受取配当金	△69	△82
支払利息	49	57
持分法による投資損益（△は益）	△0	65
投資事業組合運用損益（△は益）	－	△228
投資有価証券評価損益（△は益）	153	1
会員権評価損	0	－
固定資産処分損益（△は益）	4	△159
移転補償金	△1,620	－
売上債権の増減額（△は増加）	3,304	6,571
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,977	△2,709
仕入債務の増減額（△は減少）	△652	△1,862
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	111	－
その他	△117	△828
小計	△128	3,239
利息及び配当金の受取額	69	82
利息の支払額	△41	△57
課徴金の支払額	△2,025	－
移転補償金の受取額	1,134	－
法人税等の支払額	△340	△383
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,332	2,880

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△256	129
有形固定資産の取得による支出	△373	△238
有形固定資産の売却による収入	47	206
無形固定資産の取得による支出	△43	△24
無形固定資産の売却による収入	4	－
投資有価証券の取得による支出	△56	△261
投資有価証券の売却による収入	0	－
貸付けによる支出	△46	△39
貸付金の回収による収入	57	47
投資活動によるキャッシュ・フロー	△665	△180
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	1,500	－
長期借入れによる収入	4,000	－
長期借入金の返済による支出	△0	△400
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	－
配当金の支払額	△137	△197
リース債務の返済による支出	△97	△172
その他	△0	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,264	△778
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4	14
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	3,262	1,934
現金及び現金同等物の期首残高	7,067	12,434
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,330	14,369

（4）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（5）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間（自平成22年４月１日 至平成22年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,674	14,420	5,602	4,474	42,171	1,588	43,760	－	43,760
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,155	2	314	0	1,472	46	1,518	(1,518)	－
計	18,829	14,423	5,916	4,475	43,644	1,634	45,279	(1,518)	43,760
セグメント利益又は損失（△）	727	△420	297	50	655	28	684	(1,151)	△466

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,151百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,147百万円、棚卸資産の調整額△３百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間（自平成23年４月１日 至平成23年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,946	14,993	6,455	4,661	44,057	932	44,990	－	44,990
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,341	4	472	0	1,819	57	1,876	(1,876)	－
計	19,288	14,998	6,927	4,662	45,876	989	46,866	(1,876)	44,990
セグメント利益又は損失（△）	1,591	△148	503	150	2,098	△14	2,083	(1,212)	871

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,212百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,208百万円、棚卸資産の調整額△４百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントの変更等に関する事項

前第２四半期連結累計期間において「その他」に含めて表示していた事業セグメント「ステンレス製品事業」は、第１四半期連結会計期間より報告セグメント「建材関連製品事業」へ表示を変更しております。これは、「建材関連製品事業」の経営実態をより適切に表示するため、製品の類似性の見直しを行い、変更したものであります。なお、前第２四半期連結累計期間の「その他」に含めて表示していた「ステンレス製品事業」の外部顧客への売上高は510百万円、セグメント間の内部売上高又は振替高は２百万円、セグメント利益は15百万円であります。また、前第２四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第２四半期連結累計期間において用いた区分の方法により表示すると次の通りとなります。

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	シャッター関連製品事業	建材関連製品事業	サービス事業	リフォーム事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	17,674	14,930	5,602	4,474	42,681	1,078	43,760	－	43,760
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,155	4	314	0	1,474	43	1,518	(1,518)	－
計	18,829	14,935	5,916	4,475	44,156	1,122	45,279	(1,518)	43,760
セグメント利益又は損失（△）	727	△404	297	50	671	13	684	(1,151)	△466

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業、家具製造販売事業、保険代理店事業等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,151百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,147百万円、棚卸資産の調整額△３百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。